デジタルインボイス推進協議会 全体報告会
広報部会 活動報告

2026年7月1日（木）

広報部会
株式会社 マネーフォワード
岡部　毅

© 2026 E-Invoice Promotion Association

アジェンダ

１）広報部会 活動報告

２）登壇報告・登壇予定について（事業者向け、士業者・官公庁向け）

３）アンケートの実施について（民間事業者向け、会員向け）

４） デジタルインボイス対応製品情報の集約・発信施策

５） Peppol Ready 企業一覧の展開

© 2026 E-Invoice Promotion Association

1）広報部会 活動報告

■ 広報部会 全体活動報告

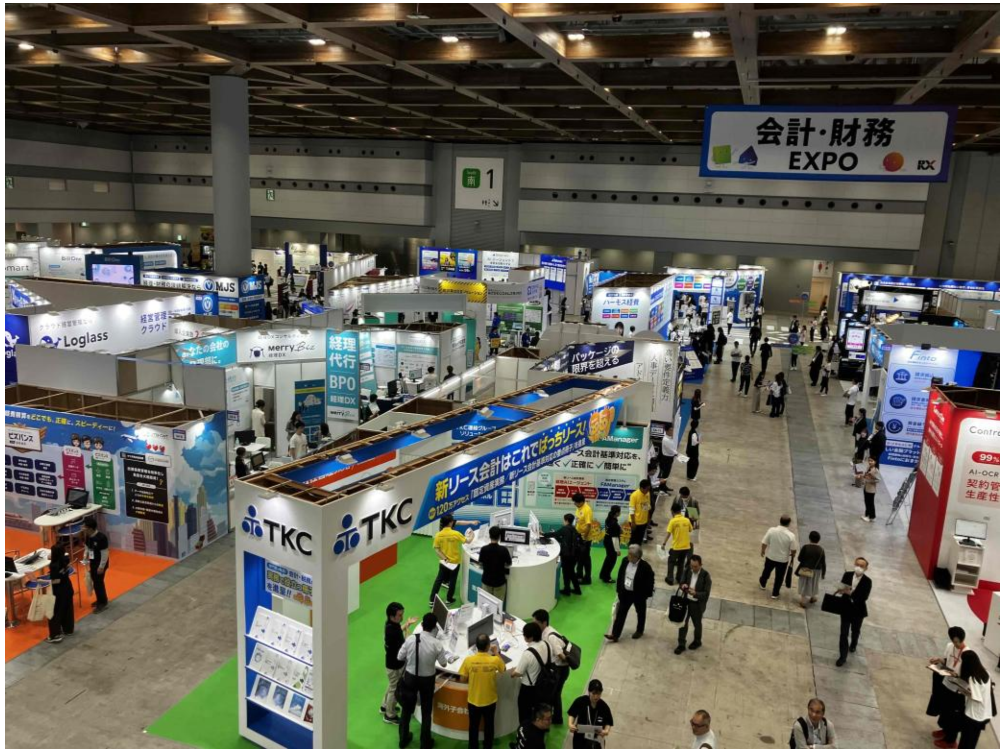
活動区分	対象	実施回数	実施期間・実施内容	状況
定例MTG	8社 （幹事法人）	20回 (2025.9 ～2026.6)	隔週月曜に開催 ・年間活動計画 ・各タスク/各プロジェクトの活動報告・進捗確認	継続
（定例MTGでの主な議題）				
登壇報告（雑誌等への寄稿を含む）			国税庁・税理士会・法人会・その他団体からの 依頼に基づき、デジタルインボイスに関する説明を実施	継続
広報資料作成			EIPAの広報資料、チラシ、ホームページ等の作成	継続
民間事業者／EIPA会員向けアンケート			デジタルインボイスの認知度や利用状況等、普及を阻んでいる要因などを調査	完了
EDIを経由しないBtoB企業との協業可能性			左記領域で膨大な企業ネットワークと高い市場シェアを持つ主要BtoBプラットフォーマーとの戦略的協議を検討。 その圧倒的な影響力を活用し、急速な普及拡大を狙う	継続
デジタルインボイス対応製品情報の集約・発信施策			EIPA会員のPeppol eインボイス対応製品の「送信」「受信」機能に関する情報をEIPA HPに集約	継続
Peppol Ready企業一覧の展開			導入企業が、相互に送受信相手を容易に特定できる 「EIPA独自ポータルサイト」を構築	継続

© 2026 E-Invoice Promotion Association

2） 登壇報告・登壇予定について（事業者向け、士業者・官公庁向け）

国税庁・税理士会・法人会・その他団体からの依頼に基づいて、デジタルインボイスに関する説明を実施（計22回）
デジタルインボイス普及促進に関する広報活動を行うとともに、事業者等から様々な意見を聞くことが出来た
7月下旬にAmazon Business様主催イベント ABX にも出展予定

会計財務EXPO（2026/6/17～19）



© 2026 E-Invoice Promotion Association
EIPA デジタルインボイス推進協議会
E-Invoice Promotion Association

2） 登壇報告・登壇予定について（事業者向け、士業者・官公庁向け）

国税庁・税理士会・法人会・その他団体からの依頼に基づいて、デジタルインボイスに関する説明を実施（計22回）
デジタルインボイス普及促進に関する広報活動を行うとともに、事業者等から様々な意見を聞くことが出来た
7月下旬にAmazon Business様主催イベント ABX にも出展予定

ABX（2026/7/28開催予定）

EDIを経由しないBtoB企業との協業可能性

EDI未導入の領域で膨大な企業ネットワークと
高い市場シェアを持つ主要BtoBプラットフォーマーとの
戦略的協議を検討
その圧倒的な影響力を活用し、急速な普及拡大を狙う

© 2026 E-Invoice Promotion Association

3） アンケートの実施について（民間事業者向け、会員向け）

民間事業者2,000名を対象とした大規模調査およびEIPA会員向け詳細調査により、デジタルインボイスの利用に**「導入企業の約8割が効果を実感」**する一方、「PDF=デジタル化」という誤認が67.5%に達しているなど
普及に向けた課題があることが解った

民間事業者向けアンケート 対外リリース済
（PR TIMESにて公表済み 2/19）

目的：認知度、利用実態、未利用理由の構造的把握
対象：経理・請求書発行担当者 2,000人規模

主要知見：
・「PDF=デジタル化」という誤認が67.5%に達しており、
構造化データへの理解向上が急務。
・導入済企業の77.5%が効果を実感。
一方で未導入理由は「取引先の未対応」が18.5%。

調査報告書(デジタルインボイス導入による業務改善効果や課題とは？)

EIPA会員向けアンケート 会員内公表
（EIPA HP、Slackにて公表済み 4月）

目的：普及を阻んでいる具体的要因とベンダー側の課題抽出

進捗：1月23日にアンケート締切。
3月に詳細レポート作成を完了。

活用：普及促進部会とも連携し、設定・操作・コスト面の
具体的改善策やメリット体感施策の立案へ活用。

© 2026 E-Invoice Promotion Association
EIPA デジタルインボイス推進協議会 E-Invoice Promotion Association

4） デジタルインボイス対応製品情報の集約・発信施策

情報の「交差点」としての役割強化
EIPA会員のPeppol eインボイス対応製品の「送信」「受信」機能に関する情報をEIPA HPに集約
単なるサービス名のリストから、具体的な機能・費用・導入フローを網羅することにより、
エンドユーザーと導入支援者（税理士等）の双方に実用的な導線を提供する

掲載情報の標準フォーマット案

- **必須** 機能対応範囲：送信・受信・保存・会計連携等の可否
- **必須** 導入フロー：Peppol ID登録から利用開始までの具体的ステップ
- **必須** 費用・条件：料金プランの参照先、保守サポート加入条件等
- **推奨** UI/UXイメージ：実際の操作画面や、他社製品との送受信図解
- **推奨** FAQ：導入時にユーザーが抱く典型的な懸念事項の解消

ステークホルダー別の期待効果

対象者	期待される定性的・定量的インパクト
ユーザー	選定コストの削減。導入イメージの具体化による意思決定の迅速化。
会員企業	信頼性向上とリード獲得機会の増加。自社製品の認知度拡大。
導入支援者	各製品の仕様把握が容易になり、クライアントへの導入支援が効率化。
EIPA	業界プラットフォームとしての存在感強化とサイト訪問者数の増大。

© 2026 E-Invoice Promotion Association

5）Peppol Ready 企業一覧の展開

情報の「交差点」としての役割強化
デジタルインボイス導入企業が、相互に送受信相手を容易に特定できる「EIPA独自ポータルサイト」を構築
送信者と受信者の双方に実用的な導線を提供するとともに、公式ディレクトリの検索性課題を解決する

公開条件・掲載項目案

- ディレクトリ登録：Peppolディレクトリ(公式)への登録完了が必須
- 登録内容の最新化：登録内容の更新・削除は申込者の自己責任
- 管理者側での適正化：不適切・未確認情報は管理者判断で削除可能性あり

（掲載項目案）

- 会社名、部署名、担当者、連絡先（メール）、Peppol ID、送受信対応状況（OK/NG：送信・受信別に表示）

公開サイト表示イメージ（案）

© 2026 E-Invoice Promotion Association